

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



たてわりの「なかよし集会」が始まったよ!

二学期から、子どもの集会活動は「たてわり班」で行います。子どもたちは、あまりよく知らない子もいる中で、周りの様子を伺いながら、こわごわ関わっていくこととなります。その緊張感たるや、大人で言うところの「新入社員が、新しい職場に飛び込んだ」感じでしょうか？年少さんは、きょとんとした表情の子や不安げな子がたくさんいました。無理ありません。



今日からよろしくね!

年長さんは更に過酷です。いきなり、全面的に人に頼られる立場になり、相手に合わせ、考えて行動しなければなりません。これは、「役割」という「環境」です。この環境に身を置くことで、年長さんは飛躍的に成長します。今年の年長さんも、大いに期待できそうですよ!!お楽しみに!

夏休みの間は、心配な情報が一本も入ってこなくて、みんな元気に、二学期を迎えられました。始業式では、年中・年長さんが楽しかった思い出をお話してくれました。みんなの前で、自分の考えを話せるのはとても凄いことです。中々言い出せないお友だちを待ってあげる優しさも素晴らしいことだと思います。程良い抵抗感のある経験が、うまくいった時の「達成感」は、子どもたちを大きくジャンプアップさせます。二学期は子どもたちにとって、きつと飛躍の学期となることでしょう。とても楽しみになってきました。

二学期が始まりました!



「ふくろうと豆の木」は、「ふくろうカフェ」と呼んで頂き、三日間で十七名の方に来て頂きました。とても具体的な困りを抱えておられる方もいましたが、とにかく話してみたいという方もいました。でも共通するのは、ありのままの自分の気持ちを話して下さる方が多かったことでした。ですから、話し終わった後、私の方がむしろスッキリして「話せて良かった」と思ったことを覚えています。この感覚は、「相談する人・される人」の立場を超えたところに生まれるものだと思います。何か、余韻が残るものでした。私は今回、一生懸命に生きている人と話をするのは楽しいものだと気づきました。生きていると言うことは、悩みがあるということですから、だから、お互いに共感できる部分は必ずあって、きつとそれが見つかった瞬間がたまたまなく楽しいのだと思います。「ふくろうカフェ」は、またいずれ期間限定オープンしますが、お急ぎの要件の場合は、トンとドアを叩いてみてください。もしかすると開くかもしれません。地域の方もどうぞ!



「ふくろうカフェ」の余韻



こまめな給水で予防!
 まだまだ暑い日が続きます。園庭をながめると、あれは運動会に繋がりそうだな!という遊びが少しずつ見えてきました。どうぞ、今年も楽しみにしててください。熱中症も心配ですが、こまめな給水に努めます。水筒を忘れ無いようにお願いします!

